



「RPAセミナー」開催案内

近年働き方改革の一環として期待されているRPA。業務効率化の威力から、業界、地域問わず注目を集めていますRPAについて、8月、9月に各セミナーを開催いたします。この機会をお見逃しなく是非ご参加下さい。

※RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）とはソフトウェアのロボット技術により、定型的な事務作業を自動化・効率化すること。特に、事務を補完・代行する仕組み。

①RPAセミナー（オンラインセミナー※Zoomを使用したWebセミナーになります。）

日時：令和2年8月26日（水）14：00～16：00

定員：80名 受講料：無料

対象：RPAの概要を知りたい方、企業、自治体など

内容：RPAの概要や仕組み、企業や地元自治体の取り組み状況等についてご紹介します。

講師：日本RPA協会 永岡 翼（ながおか つばさ）氏

ソフトバンク 山本 浩己（やまもと ひろき）氏

郡山市 ソーシャルメディア推進課、行政マネジメント課

申込：当協議会HPよりお申込み下さい。 <https://www.techno-media.net6.or.jp/newmedia/>

締切：8月21日（金）

②RPAハンズオンセミナー

日時：令和2年9月16日（水）10：00～16：00

会場：郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター 1F 会議室（日本大学工学部キャンパス内）

定員：10名 受講料：無料（※PCをご持参いただきます。）

対象：RPAの導入を検討している方、RPAの操作を体感してみたい方、企業、自治体など

内容：RPAを実際に操作することで、RPAの仕組みや機能について体験できます。

講師：ソフトバンク 山本 浩己（やまもと ひろき）氏

申込：当協議会HPを参照ください。募集開始は8月27日（木）～ <https://www.techno-media.net6.or.jp/newmedia/>

締切：定員になり次第締め切らせていただきます。



令和2年度第1回技術等審査委員会の審査結果

令和2年4月1日～5月31日に応募があった助成事業について、去る7月2日に郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンターにおいて技術等審査委員会が開かれ、厳正な審査の結果、地域技術起業化助成事業として1件が採択されました。

今月号では、採択されたテーマをご紹介します。

日本製手術器械のブランド化

株式会社マイステック 代表取締役 金井しのぶ

起業化目的：‘日本製手術器械の良さを大切にしたい「新しい」手術器械’をより明確且つ効果的に発信するブランド化を目的。

外科医の手の代わりとなる道具として、機能と価格のバランスを考えて作られたちょうど良い“TOOL（道具）”、そして安定した品質で丁寧な管理やサービスを行う“Japan Quality（日本製）”という思いを“JTOOL”とし、ロゴ製作、日本製の手術器械の良さや、ものづくりの歴史を魅力的に発信するためWEBサイトを制作し医療機関や、医師、医療機器製造に関わるユーザーや関係者に広く周知することで、認知度を上げる取り組みを行う。

※事業実施期間 令和2年7月1日～令和2年11月30日



サステナブル地域づくりフォーラム ボードメンバー会議を開催

郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議の事業の中心となる日本大学工学部と会員企業連携によるフォーラムの開催に向け、フォーラムの中心的役割を担うボードメンバー企業とそのコーディネーターとなる日本大学工学部教授との会議「サステナブル地域づくりフォーラムボードメンバー会議」を開催しました。

メインコーディネーターである日本大学工学部の中野教授を含め、4人の先生方から研究の活動報告を行い、その後、フォーラムのテーマや開催方法について意見交換を行いました。ボードメンバー企業は先生の活動に対する質問など活発な意見が出されました。

今後、ボードメンバー会議の意見を踏まえて、第7回サステナブル地域づくりフォーラムを開催します。

なお、フォーラム開催に当たっては、「テクノポリスだより」において案内を行いますので、是非ご参加ください。



令和2年度 ICT 高度利用推進事業 「働き方改革セミナー」開催報告

令和2年7月15日(水)に、働き方改革セミナー「新しい働き方改革のその先へ。」が開催されました。

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会が主催、公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構が共催し、サイボウズ株式会社の武田卓也氏、難波夕希氏を講師に迎え、Webセミナーとして開催されました。

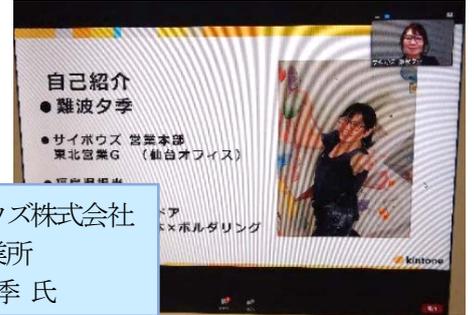
セミナーでは、サイボウズ社のテレワーク実践事例の紹介を通して、新しい働き方改革に必要な自社風土づくり、様々な働き方を支援するための人事制度の導入、テレワークに必要な様々なツールやグループウェアなどの環境整備の必要性などについて講演を行いました。

参加者からは、「テレワークを導入し新しい自社の風土づくり等、企業の更なるレベルアップに向け参考になりました」、「コロナ禍により社会が変化している。真の働き方改革が必要な時にきたと思う」など、新しい働き方に対して肯定的な感想が多く寄せられました。

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会では、今後も、ICTを活用した新しい働き方に関するセミナー等を開催していく予定です。



サイボウズ株式会社
仙台営業所
所長 武田 卓也 氏



サイボウズ株式会社
仙台営業所
難波 夕季 氏

お知らせ

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 事務局 人事異動について

◆よろしくお願ひします◆

令和2年7月27日付
技術コーディネーター
内田 吉孝



この度、技術コーディネーターとして勤務することになりました内田吉孝と申します。

前職では、
・無線通信機器や通信システム
・画像処理・認識技術を応用した製品
・各種センサーを応用した自動運転／自動駐車関連システム
等の研究開発や製品開発業務に携わってまいりました。

そこで得られた経験等を活かして皆様のご支援が出来ればと考えております。今後とも何卒よろしくお願ひいたします。

ものづくりインキュベーションセンター エレベーター昇降口前に「防水板」を設置

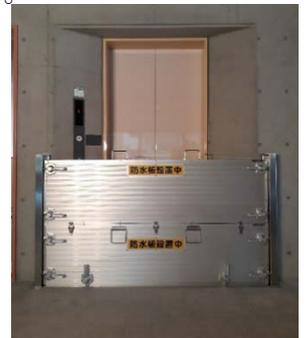
Vol.123 でエレベーターの復旧工事が完了し5月より使用開始と報告しましたが、今後起こりうる同様の浸水災害に対応するため「脱着式防水板」を設置しました。

今後は、天気予報など注視し事前に「防水板」を取り付けて、対応して行きます。

(止水高：1,000mm)



防水板を外した状態(側枠のみ)



防水板を取付けた状態

今月のコラム (技術コーディネーター 井上明博)



今月からコラムを担当します技術コーディネーターの井上です。ものづくり企業の製造工場にとって、緊急かつ重要と感じている課題は【事業継続計画

(BCP)からマネジメント(BCM)への対応】や【現場力の向上】に関連する内容です。(参考TRC EYEvol.279から)

東日本大震災では、地震や津波の直接的な影響に加え、燃料や水の供給停止、物流の混乱、サプライヤーの被災など、多くの工場が生産停止に陥ったことは記憶に新しい。また、そう遠くない将来に起こると予想されている、首都直下地震や東海地震、東南海地震、南海地震などの大地震。そして、台風や集中豪雨による河川の氾濫、最近の新型コロナウイルスなどの影響は、決して他人事ではありません。そのため、海外の取引先からは、事業継続の取り組みについてレベルの高い対策/対応を要望されているのも事実です。是非、ISO22301 認証取得を目指してみませんか。

そこで、喫緊の課題でもあるBCP/BCM 関連内容から【リスクに強い工場をつくり、非常時でも事業を維持する仕組みを作り上げるには・・・】をテーマに考えて行きます。また、リスク低減のためには、調達・購買、生産管理、物流、製造、開発・設計、品質管理などの関係部門が参加する組織横断型の体制を構築するとともに、役員クラスを責任者に据えて継続的に取り組む必要がある・・・と強く感じています。

次回から『BCMの基本的な考え方』について、分かりやすく、複数回に分けて掲載していきます。

